

とき たの
刻を愉しむ
～ 出れば旅の空 ～



行田ロータリークラブ

国際ロータリー第2570地区 第5グループ

2018-19 年度 RI 会長:バリー・ラシン / ガバナー:茂木 正 / 会長:碓井勝也 / 幹事:鈴木貴大
クラブ会報委員会 委員長:黒田淳一 / 例会日:木曜日 午後 5:00 開会 / 会場:中正屋

第2546回 9月第2例会 9月13日(木)

[川越市内見学例会]

行田ロータリークラブ 碓井勝也会長
幹 事 鈴木貴大幹事
心の継承委員会 朽木 宏委員長

案内人 荒牧澄多氏 向かって右側です



旧梅原菓子店「旭舎文庫(あさひのやぶんこ)」

内部で川越の過去と現在のレクチャーをしていただきました。



なんとうり(長屋を改装したギャラリー)



スターバックス川越鐘つき通り店
(見学と休憩)



旧山崎家別邸





惠比寿屋(川越第1号の民泊所)



中正屋(古民家リノベーション店舗／蕎麦会席)

アラン・ウェスト氏の卓話と懇親会



卓話

アラン・ウェスト氏(日本画家)



アラン・ウェスト氏の生い立ちから画家になった経緯、日本画・日本の画材との出会いや能楽の魅力などを熱く語って頂きました。

1962年アメリカ・ワシントンDCに生まれ、3歳から絵を描き始める(特に植物画を多く描いた)。8歳で画家を目指し、14歳の時に初めて絵の注文制作を受け舞台背景などを描く。高校時代にスミソニアン美術館にて週2回ボランティアで学芸員のサポートとして働き、美術史・作品・作家の幅広い知識を身に着ける。高校卒業後は全米でトップクラスの美術大学・カーネギーメロン大学に進み様々な絵画技法を学ぶ。大学在学中に日本画の画材、「岩絵具」と「鹿膠(にかわ)」に出会い自身の理想の画材を見つける。カーネギーメロン大学を卒業後、日本へ移住し日本画の技法や画材の取り扱い方を学ぶ。1999年からは東京・谷中に自動車整備工場を改装してアトリエ兼ギャラリー「繪処アラン・ウェスト」を構え、精力的に創作活動に励んでいる。

また、自身のライフワークとして「能楽」に魅了され数々のイベントも開催している。